

第1回八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会 意見・質問

	意見・質問
1	<p>北部の適正配置については、これまでの経緯と成果を踏まえ、今後も小規模特認校制度の導入を継続するか否かが一つの重要なポイントと考える。そこで初めに、経過として小規模特認校制度の導入において、保護者等に対してどのように説明やPRを行い、その成果について伺いたい。</p>
2	<p>R2年3月策定計画（概要版）、9P②適正配置の方向性（計画）からR6年は第何期と考え、さらにその対応の検討と今後の詳細なスケジュール設定はあるのかを伺う。</p>
3	<p>全体的な適正配置については、概要版2Pの通学区域と各中学校ブロックの再構成を今後検討されるのかを伺う。</p>
4	<p>令和6年度の児童数は、いつ現在のものなのか、明確に記載したほうがよいのではないのでしょうか。ちなみに、5月1日は、75名、第2学期は、78名でスタートします。</p>
5	<p>例えば、令和6年度の1年生13名が令和7年度に2年生になると14名に増えています。逆に、令和6年度の2年生7人が令和7年度に3年生になると5名に減っています。また、令和6年度の4年生は、令和7年度に5年生になっても、15名と人数に変動がありません。学年によってその推移が違うのはなぜでしょうか。この推移によって、考察にある「令和7年度から複式学級の可能性がある」という考察は変わってくるのではないかと思います。「複式学級化は、対応」という方針に則るのであれば、ここは大きな視点になるのではないかと考えます。現実には、令和7年度に複式学級とはなりません。</p>
6	<p>6月に教育委員会からいただいた情報によると、令和7年度1学年の人数は14名と聞いております。13名と減っているのはなぜでしょうか。住基上のことなのであれば、やはり、いつ現在の人数なのか記載したほうがよいのではないのでしょうか。</p>
7	<p>北部地区には、パーキングエリアやスマートインター、道の駅等ができることによって交通環境が変わり、八條北小学校や八條中学校の教育環境が変わると予想される。特に、八條北小学校周辺の交通量は多くなり、安全面に関しては今より状況が悪くなると考えられる。八條中学校と八條北小学校の子どもたちが安全に通学できるようにするためには、スクールバスの利用等、何らかの方策を講じる必要がある。</p>

8	<p>八條中学校は、年々生徒数が減少し数年後から1学年1クラスの状況が続く見込みになっている。そのため、教職員の配置に制約が出たり、生徒の学習面や部活動面での影響が出たりする可能性がある。</p> <p>八條北小学校は令和3年度から小規模特認校制度を導入して特色ある英語教育を進めて小規模校の解消を目指しているが、特認校制度を利用して通学をしている児童数は毎年若干名である。また、27ページの八條北小学校の児童数の集計結果から、近年に複式学級の編成の可能性がある。このまま小規模校制度を継続したとしても、小規模校の解消に繋がる可能性は低いと考えられ、複式学級の編成を回避することも難しいと思われるため、小規模校や複式学級を解消するための策を検討していく必要がある。</p> <p>例えば、北部地区に小中一貫校を創った場合や英語教育以外の特色ある教育を進めて複式学級の解消ができる方策など、様々な面から検討をした方がよい。その際、八條中学校と八條北小学校の子どもたちが安全に登下校でき、且つよりよい教育環境の中で教育を受けるためにはどうしたらよいか。また、事務局が考えている通り、保護者や自治会等、地域の方への説明会を実施して、ご意見や考えを伺いながら対応策を検討していくことが望ましいと考える。</p> <p>また、何らかの方策を講じて八條北小学校の児童数が増えた場合には、八條北小学校に小規模校での教育を望んで、小規模特認校制度を利用して児童がいることから、そういった児童や保護者へのケアも考えていかなければならない。</p>
9	<p>八條北小学校は、近年に複式学級になる恐れがある。デメリットにも書かれているように、学習面に関しては、学級担任が二学年の教科指導を同時に行ったり、教職員数が少ない中、出張は他校と同じようにあるので、出張による自習学習の時間が増えたりすること、また、多様な考えに触れる機会が少なくなることなどから、学力の低下が懸念される。教職員の定数は法令によって決まっているため、複式学級は避けた方がよい。</p>
10	<p>複式学級とは（計画P28）</p>
11	<p>教職員の配置に生ずる制限を具体的に</p>
12	<p>弾力化がわからない</p>
13	<p>地下鉄8号線が通ったら八條北学区も子どもが増えるのか</p>
14	<p>八條北小学区土地が新しく家が建てられない地域になっている理由は</p>
15	<p>市全体として人口増も目指したりしないのか</p>

16	<p>新設小学校の設立にあたり、見守り協力について、現在ある町内会は、大瀬小学校・潮止小学校・大曾根小学校の見守りに行っていると思うのですが、新設小学校ができるにあたって、現在ある見守りが少なくなると新設小学校の方に行ってしまうのか。</p> <p>時代的にも、女性も働き、教職員も働き方改革により旗振りが難しくなっていく中で、地域との連携がなお必要になってくる。</p>
17	<p>通学時間が1時間超になると、うつ病のリスクが1.6倍になるという記事を見た。</p> <p>現状、八潮市の小学校では1時間を超える学区はないが、30分以上の児童生徒はいると思うので、柔軟な対応が必要である</p>
18	<p>八條北小・八條中について、特色に興味を持つ保護者はいるようですが、保護者による送迎が必要な為（バス等での通学に不安があるため）選択肢にならないという声を聞きます。スクールバスがあれば安心安全に保護者負担も少なく登下校させられるのにとと思います。</p>
19	<p>潮止中に子どもを通わせていますが、学校規模は少数精鋭の頃のまま、生徒が非常に増えているように思います。校舎内、教室内の人口密度は高いと思います。学区として登下校に時間がかかる子もいます。個人的には早くできたらいいのにとと思います。</p>
20	<p>スクールバスの導入で、学区内で遠い所に住む児童生徒も酷暑においても安心して登校できるようになるのではないかと思います。また、市内の中学校の制服を統一することにより市内転居・転校への経済的ハードルを下げ、自分にあった特色の学校に通えるようになると良いと思います。</p>
21	<p>八條小・八條北小・八條中の児童生徒数の激減は、推計結果からも明らかになっている。教育効果を最大に発揮するためには、学校の適正規模へ向けた再構築は喫緊の課題であると思う。</p>
22	<p>八條北小は令和7年度から複式学級の編成の可能性がある。更に令和21年度以降、2～6年生は複式学級となる可能性がある。八條中は令和31年度には全生徒数が41名となる。両校は学校教育の危機的状況である。意図的・計画的にこの危機を克服できる手立てを早急に講じる必要がある。</p>
23	<p>八條小・八條北小・八條中は小規模校としてのデメリットの方がメリットより大幅に上回っている。世の中（社会）は競争社会である。その荒波を乗り越えていくことができる学力・体力・精神力は集団の中での切磋琢磨から培われるものである。三校の子どもたちを現状のままで社会へ送り出すことに我々は自信が持てるのか。</p>
24	<p>八條小・八條北小・八條中の三校を統合して新たに「八條小中学校」を設立する。八條小・八條北小の児童は八條中へ進学することが前提となる。</p> <p>「八條小中学校」び設置場所は要検討。遠距離（基準を設ける）通学者は公費負担のスクールバスにて通学させる。</p>
25	<p>本市と同様の事由によって学校の統合を実施した自治体の実態調査を行い、分析して、良い方法を検討することも大切である。新しいことを行う際には、課題や反対等は必ずあるものである。しかし、三校の現状を鑑みた時、時間的な猶予は全くない。子どもは待っていない。どんどん卒業していってしまう。</p>

26	<p>北部地域の変化に伴う小中学校の影響についてお聞きします。</p> <p>外環パーキングエリアやスマートインターチェンジ、道の駅やしお等が整備された場合、どの程度の通学路変更が行われるのか、また、児童生徒の安全確保において懸念される点について教えていただきたい。</p>
27	<p>八條北小学校の児童数減少における教育環境の低下が心配。令和7年度において複式学級の可能性もあるとのことですが、複式学級を回避できるよう早急に対策を講じていただきたい。地域による教育環境の格差が出ないような支援をお願いしたい。</p>
28	<p>北部と南部で児童生徒数に差があるが、今後、学区等（小学校）の変更の検討はあるか</p>
29	<p>北部地区の特認校に児童生徒が増えるための計画はあるか</p>